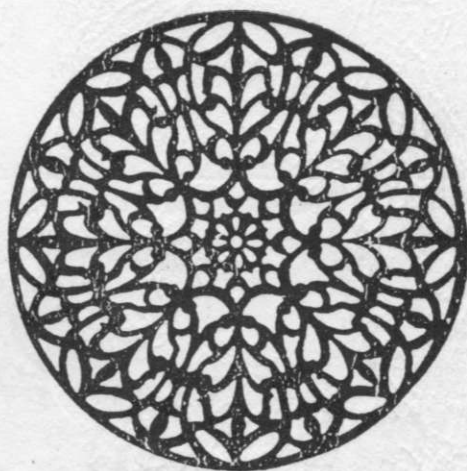


マンドリン
コンサート

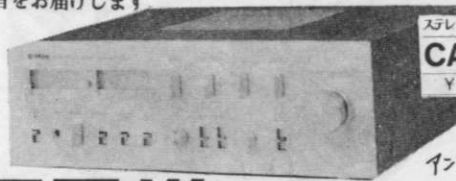


16th*

祝 第16回定期演奏会

★オーディオの事なら県下に誇る実績と技術の当社へ！
 世界の音を追求するスタッフ/価値ある音をお届けします
 国内外全メーカー取扱い

「いい音・安く」がモットー
 是非一度御来社下さい。



ヤマハ
 ステレオプリメインアンプ
CA-2000
 ¥158,000

プリメイン
 アンプの芸術品



株式会社

丹沢電機

2F

オーディオセンター

ロイヤル試聴室有り

甲府市太田町9-13 TEL.0552 (33) 0033(代)



橘田耳鼻咽喉科

院長 橘田 豊雄

甲府市中央二丁目12の28 TEL (37) 3387~8

山梨大学マンドリンクラブ

創立17周年

第16回定期演奏会

1978. 11. 22 (水)

県民会館大ホール

後援 / 山梨大学工学部学友会・山梨放送

協賛 / 山梨日日新聞社



ごあいさつ

部長 鈴木哲司

秋の夜空にオリオン星座が現われ、甲府にもいよいよ八ヶ岳の風が強くなり、冬將軍が迫ってきたと感じられる今宵、私達の定期演奏会に御来場下さいまして、ありがとうございます。今年はクラブが発足して17年目、定期演奏会も第16回を迎えるにあたり、今後のクラブ発展には、大切な年であることを念頭に部員一同はもとより、先生方諸先輩の方々と共にマンドリン音楽と、人と人の「和」を目標に歩いてきました。

きょうは一同一生懸命演奏します。しかし、まだまだ未熟でお聞き苦しいことと存じますが、私達の若く熱い心をお感じ下されば幸いです。

なお演奏会については、クラブ発展のため今後ともよろしく御批判、御支援をお願い致します。

最後にこの演奏会を開催するにあたり、発足当時から献心的な御指導を下さる飯島国男先生、比留間きぬ子先生をはじめ、一瀬栄一先生、諸先輩の方々、学校当局、各関係会社の御支援、御協力に対して厚く御礼申し上げます。

定期演奏会を迎えて

山梨大学マンドリンクラブ顧問

工学部教授 牧野 洋

今年も定期演奏会の時期となった。毎年この頃になると思うことであるが、大学のクラブというのは短距離競走のようなもので、4年間という年限が限られている。(もっとも、なかには自分で勝手に延長する人も居るが。)毎年4月には大量の新人が入部し、4年間の間に腕を磨いて、うまくなった頃には卒業していく。その繰返しである。そうした中で、ずっと続けているうちに、少しずつ全体のレベルが上ってくる。これは考えてみると不思議なことであるが。それが伝統というものであろう。山梨大学マンドリンクラブでもすでに十数年の歴史を持ち、いくらか伝統と言えるようなものができてきたような気がする。その伝統を恥ずかしめない良い演奏をして欲しいものである。



美味

- ※ エビ・ハンバーグ、エビ・ポーク コース好評です
- ※ 昼食、特別定食、ステーキ定食も御利用下さい。

営業時間 11:30 ~ 9:00

休日 毎月 月曜日

cavalier
Restaurant **カバリエ**

山梨県甲府市中央一丁目6-6

(丸忠ビル二階)

TEL (35) 5151

夏合宿と定期演奏会によせて

比留間マンドリン研究所 比留間 きぬ子

今年の夏のきびしい暑さも、さすがに9月初旬の小室山妙法寺周辺には既にしのびよる秋の気配が感じられた。古色豊かなお寺の廊下の両側にはクラブ全員が一行に整然と私を出迎えてくれる、その一瞬私は思わず胸がジーンとする。一年ぶりの再会、そして誰もがそれなりに、たくましく成長している。年に一回のみのふれ合いだけに懐しさもひとしほである。僅か2、3日に1年分を少しでも多く指導して行きたいと思う。私に伝えて皆さんも正に緊張の連続である。マンドリンと共に音楽の根本的な修業と経験をつんで来られた指揮者の少ない地方に於て、このマンドリンクラブが飯島氏を指揮者として指導者として、然も相談役として常に接して居られる事は誠に幸せである。合宿の度に氏と再会出来る事は且て私の門下にあった氏のさまざまの思い出と共に社会的にも寸暇のない氏のマンドリンクラブへの情熱、愛情、配慮に対する敬意を表さずにはいられぬ何日かである。人間性豊かな温容をたたえて居られる氏が、ひと度タクトを取ると想像も出来ぬような全身全霊からほとぼる如き音声をもって指導される。然し氏の視線は新入部員の一年生が後列に、ひそかに一音だけでもひろおうと努力している健気な姿に、早く合奏の雰囲気にも馴れてくれ、くじけてやめるなよ。と、いたわりと励ましの優しさが感じられる。今年の演奏曲目も多彩でありテクニックの難解のものも多いが、最近はその曲の内容表現は結局原点に帰れば楽器の基礎訓練に端を発し、正しい奏法によって自然な技術をもってこそという所に意を用いて下さる様になった事は喜ばしい。

時間と距離が許されたら私はもっと自分の納得出来るまでの指導を試みたいと、またしても残念さが女の愚痴になるのが常である。合宿を終え帰途に着く日、みんなで国旗の掲揚と、くす玉を割って私への感謝と無事を祈って下さった。スルスルとあがった小さな国旗と、そして可愛い、くす玉が割れ色さまざまの色紙が舞った。誰方のアイデアかともかく有合せの紙で、ノリ付して造ったものである。この意表に出た純粹、素朴のもてなしに私は涙しながらその手造りの品を我家まで持ち帰り飾ってある。

いよいよ演奏会も間近である。今一度楽譜を見直し精いっぱいがんばってほしい。音楽は生きている、一曲は素晴らしいドラマである。すべてのパートはそれぞれの役割をもち、それに忠実に励んでほしい。目と、耳と、心で豊かな演奏を終始されることを祈ってやまない。

御来聴の皆様方にも、この素晴らしい若者達の城であるマンドリンクラブに、此の上とも御支援賜わりますことを希いつつ、ペンをおく。

紹介

比留間きぬ子

我が国マンドリン界の最高権威者で東京に「比留間マンドリン音楽学院」を開いておられ、兵庫県にも教室をもたれて関西の人々への指導にもつくされております。又一方、ラジオ、テレビ、映画音楽など非常に多方面に御活躍中です。

先生はマンドリンという可憐な楽器に私達が深い理解と愛情をよせるよう常に教示されます。先生は山梨大学マンドリンクラブ常任指揮者飯島国男氏の師にあたり、我がクラブを御指導下さっております。

飯島 国男

マンドリンを比留間きぬ子、ヴァイオリン及びヴィオラを福井直弘、チェロを中島方、指揮を沖不可止に師事。

昭和23年 飯島マンドリン四重奏団結成

昭和26年 飯島弦楽四重奏団結成

昭和30年2月 JOKG管弦楽団設立、常任指揮者となる

4月 NHKオーディションに合格

12月 オペラ「手古奈」上演、編曲並に指揮

昭和31年 労音の招きに全国を演奏旅行

昭和32年 山梨梨全域の音楽団体を統合、横の連絡機関として山梨音楽文化連盟が結成され、理事長に就任。

昭和33年 オペラ「鷹の泉」上演。編曲並に指揮。

昭和52年 「芸術功労賞」受賞

比留間マンドリンアンサンブルの客員として、ラジオ、テレビレコード等に活躍していたが、現在は山梨県下のプレクトラム音楽普及並に指導に尽力している。

(日本マンドリン連盟関東支部委員 日本弦楽指導者協会会員)

PROGRAM

I. MANDORIN ORCHESTRA

指揮 榊原 光

★歌劇「カルメン」より前奏曲

……Georges Bizet

★ハンガリー舞曲 第5番

★ハンガリー舞曲 第6番

……Johannes Brahms

★ハンガリー狂詩曲 第2番

……Franz Liszt

II. MANDORIN ENSEMBLE

指揮 寺井雅宣

★序奏と変奏 ………Mauro Giuliani

Sollist 小松泰三 編曲 中野二郎

★調和の靈感 作品第11番二短調

…………… A. Vivaldi

Sollist 須藤政利 坂本祐二 古屋敦子

III. MANDORIN ORCHESTRA

指揮 飯島国男

★北設楽民謡 “せしよ,”

…………… 川島 博

★夜想的間奏曲 ………R. Crepaldi

★イタリアの復活—シンフォニア—

……………G. Anelli

歌劇「カルメン」

プロスペル・メリメの原作をもとにしたアレヴィとメイヤックの台本にジョルジュ・ビゼーが作曲した「カルメン」はビゼー最大の傑作であり、今日オペラとして、また管弦楽組曲として、しばしば演奏され、親しまれている曲です。

本日は定期演奏会の開幕として、この曲の前奏曲を取りあげてみました。これは闘牛士たちの入場の際の闘牛場の華やかな興奮的な気分を表わしているものと、トリアドールの歌、すなわち闘牛士の歌として、広く知られている親しみやすい旋律からなっているもので、四分の二拍子の強烈なリズムが印象的です。

ハンガリー舞曲

ドイツの大作家ブラームスは、1853年、20歳の時、ハンガリーのヴァイオリン奏者エドワルト・レーメニーのピアノ伴奏者として演奏旅行に出かけ、レーメニーから数多くのハンガリー・ジプシー音楽を教わり、それ以来ハンガリー音楽に熱中し、多くの資料を集めたといわれています。演奏旅行の16年後、36歳の時、それまで集めた資料をもとに、四手用のピアノ曲として、ハンガリー舞曲集を書きあげました。

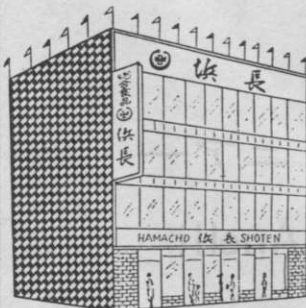
本日の演奏会では、第五番と第六番を演奏します。

第五番はハンガリー舞曲集全21曲中最も有名な曲で、激しいリズム、熱っぽい旋律はいかにもハンガリー的です。

第六番は全曲の中でも異色の曲で心地よく、はずむようなリズムのうえに、美しい旋律が流れています。

ハンガリー狂詩曲

ハンガリーの音楽好きの貴族エステルハーツィ侯の私領管理人を父として生まれたリストは、音楽を愛しみずからピアノをもたしなんだ父の影響もあり、はやくから天分を現わしました。そして彼がハンガリーの片田舎に住んでいたのは、もっとも環境になじみやすい少年期であったので、おそらく当時のリストは、百姓の歌声を通じ、ジプシーの弾くヴァイオリンにより、ハンガリー民謡調を身につけたのでしょう。このハンガリー狂詩曲第二番もハンガリー民族音楽の特徴が豊かに表現され、いくつもの主旋律が走馬燈のようにあいついで現われ、リスト全体曲中でも、もっとも人々に好まれ楽しまれている曲です。



甲府市中央卸市場
促成野菜妻物・ビン・かんずめ



本店 甲府市中央1丁目18-4 TEL (甲府) (33) 0208~9
市場 甲府市国母6丁目6-11 TEL (甲府) (28) 1625

序奏と変奏

マウロ・ジュリアーニ (Mauro Giuliani) は、1781年7月27日 イタリアのビスツェリエに生まれ、1829年5月8日 ナポリに没した古典時代の大ギタリストである。ジュリアーニの生まれた頃は、古典派音楽の初期の時代の音楽家たちが活躍していて、音楽の内容も新しいものが生まれつつあった時代であり、ソナタ形式の発生や新しい楽器編成を必要とする音楽つまり、弦楽四重奏曲、弦楽五重奏曲など室内楽の代表的な形が確立されたのもこの頃である。

ギターの世界では、ジュリアーニは古典派音楽の代表的作曲家として、ソルと共に重視されている。ソルは誇りある伝統の中で抒情的、複音楽的な音楽をギターで唱わせ、ジュリアーニは新ヨーロッパのバイタリティを徹底した単音楽の手法と、メカニックなまでの整然とした形式美により、発現すべく、ともに天与の才能を強力に発揮した。

この「序奏と変奏 (op. 102)」は原曲の「弦楽五重奏曲 op. 102」をマンドリンアンサンブル用に編曲したもので、Andante の序奏に始まり、軽快な Allegretto の主題へと移り、それが終わると、3部よりなる変奏部へとこの主題が発展されていくものであるが、最後の第3変奏では、主題の対照の明瞭さがはっきり表われ、それは練習曲にも見られるように、ジュリアーニの音楽表現の持味でもある。

調和の靈感 第11番 =短調

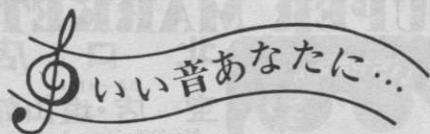
アントニオ・ヴィヴァルディ (1675—1741) の作品3番をなす協奏曲集には、“L' Estro Armonico” (調和の靈感) なる標題がつけられており、1712年に出版された。これこそ彼の名声を永遠なものとしたところの記念すべき曲集である。

この第11番は、典型的な三楽章制であり、各楽章が同一の調子になっている。

第一楽章は、はじめに34小節の序奏部があり、次にフーガの主部となる。実に堂々たる楽章であって、これはバッハの作品と称しても不思議に感じられない位である。

第二楽章は古典イタリア歌曲形式を用いた古典様式の表現で、“美しさ”を感じさせる曲である。

第三楽章は、第一楽章に対応して、堂々たる構成であり、華やかな終曲をなす。



レコード・ステレオの本格的専門店

フタバエコー

- 三和タクシー前の北口店 TEL 51-3534
- 伊勢二丁目バス停前の伊勢店 TEL 32-2786

外科・整形外科・胃腸科
レントゲン科・肛門科

やもと
箭本外科

院長 箭本 巖

甲府市北口三丁目1-1 (YBSの東)
TEL (53) 3532~3

北設楽民謡「せしよ」

きたしたら
北設楽の民謡「せしよ」は盆踊りの歌である。「せしよ」とは盆踊りの中に出てくる一種のかけごえのようなもので、それ自体には意味はない。盆踊りは死者を迎えるためのもので、この歌は日本では数限りなくあるが、その中で最も美しいものの一つである。

民謡を器楽曲にする時、何と言っても、その民謡の生命である言葉がのせられないことは障害になるが、それよりも——たった7小節であるが——この美しい旋律だけでも十分なイメージがわくにちがいないし、日本人であるかぎり、この旋律を一度聞いただけで、忘れることなく心の底に浸透することであろう。

この歌の本当の歌い方、発音、テンポ、リズム等は、この楽譜からはまったく想像することはできない。特にわれわれはイタリアマンドリンの中で育って来た為、かなり洋風に受けとり、イタリア風になってしまふ。それはそれとしていいと思う。しかし、それでも尚、日本の特長をつかみ、イタリアナイズされない泥くささを現わして、日本の心をこの中に発見したいものである。

ぼーん にやー おい でー よ ひち 3 ---
--- がーあー おー いー --- で

夜想的間奏曲

作者クレパルディはイタリア・ポローニアで活躍したマンドリン作家。この夜想的間奏曲は1923年イル・コンツェルト誌の作曲コンクールに於いて第2位を獲得。1927年イル・コンツェルト誌より出版された。

この一曲によって、マンドリン界に彼の名を一きよにとどろかしたといわれる名作である。

この夜想的間奏曲は、曲想きわめて美しく、心に訴えてくるものがあるが、この表現は非常に緻密で、高度な解釈を要し、その弾き方、その合奏によっては、実に平凡な曲となってしまふ、といわれる難解な曲の一つであろう。

数あるマンドリンの夜想曲の中でも、特に美しく洗練された佳品である。

皆様の電気のデパート

オーディオ・カラーテレビから
VTR・冷暖房設備工事まで

山梨冷暖房株式会社

甲府市丸の内2-30-5
(平和通り市役所前)
TEL (24) 5151(代)

SUPER MARKET



北口店

52-4161

宝店・塩山館

24-5368 3-2173

三吉店・山梨店

35-0759 2-2365

塩部店・貢川店

53-6611 28-8090

いちやまマート

イタリアの復活

ジュセッペ・アネルリ・トリゴロは1876年生まれ、マンドリンの故郷イタリアで最もマンドリンが栄えた頃、即ち1910年代に活躍した作曲家で1926年に死去した。

彼のマンドリンの作品は、トリエーノのイルマンドリーノ誌より出版された物だけでも48曲を数え、その内4つのシンフォニアが名曲で、中でもこの「イタリアの復活」が最も有名である。

このシンフォニアはチューリッヒのイルマンドリーノ誌主催の第9回国際音楽コンクールで金牌を受賞した。本曲の初版は、1911年のイルマンドリーノ誌9号で発表されたが、たちまちの内に欧州全土の主要マンドリン合奏団のレパトリーに採用されて決定的な成功を獲ち得た。

本曲は、その出版時において、これらの楽器のためのクラシックな独創的作品として評価され、流麗な旋律テンポの興味深い変化等、マンドリンオーケストラ曲として、その作風においてユニークな進歩的な曲と賞讃された。

中国料理
甲府大飯店



甲府市大手1丁目2-21
TEL (51) 4656

交通安全 平和の願い



公認

平和自動車教習所
山梨県甲府市東光寺町
(甲府東中学校前)
TEL(0552)33-9613

STAGE MEMBER



1st Mandolin

◦須藤政利 (工3) 岐阜
 川島功子 (教3) 山梨
 日向菊夫 (院2) 山梨
 坂本祐二 (教4) 山梨
 中川京子 (教4) 山梨
 赤尾幸子 (教4) 福井
 山中由章 (工2) 滋賀
 桜井一雅 (工2) 兵庫
 興水範子 (教1) 山梨
 西宮節子 (教1) 山梨
 斉藤英希 (工1) 山梨
 白井克佳 (工1) 愛知
 谷岡良弘 (工1) 兵庫

2nd Mandolin

◦荻野洋子 (教3) 山梨
 中川京子 (教4) 山梨
 梶原由美子 (教4) 山梨
 花沢美紀子 (教2) 山梨
 山中由章 (工2) 滋賀
 鈴木和美 (教2) 山梨

田中千恵 (教1) 山梨
 中野賢次郎 (工1) 兵庫
 原義明 (工1) 神奈川
 山内尚 (工1) 愛知

3rd Mandoin

◦大久保友子 (教3) 山梨
 伊藤一美 (教3) 山梨
 藤森睦美 (教4) 山梨
 藤巻妙子 (教4) 山梨
 久保島久美子 (教2) 山梨
 笠井貴久子 (教1) 山梨
 奥野正人 (工1) 京都
 桜本久 (工1) 山梨
 内海隆盛 (工1) 静岡

常任指揮者 飯島 国男
正指揮者 榊原 光
副指揮者 寺井 雅宣
コンサート・マスター 須藤 政利

部長 鈴木 哲司
副部長 小松 泰三
大久保 友子

Mandola

◦鈴木 哲司 (工3) 岐阜
相原 ひろ美 (教4) 山梨
田頭 明 (工4) 広島
坂牧 久哉 (院2) 静岡
片山 幸久 (工2) 静岡
末木 明美 (工2) 東京
望月 三智子 (教2) 山梨

Mando cello

◦神沢 あさみ (工3) 山梨
古屋 敦子 (教4) 山梨
赤尾 幸子 (教4) 福井
内山 定俊 (工2) 静岡

Flute

◦伊藤 一美 (教3) 山梨
小嶋 英次 (工4) 東京
寺井 雅宣 (工2) 千葉

Contra bass

◦三上 晴樹 (工2) 静岡
橋口 優 (工4) 東京
小林 誠一郎 (院2) 東京
榊原 光 (工3) 静岡

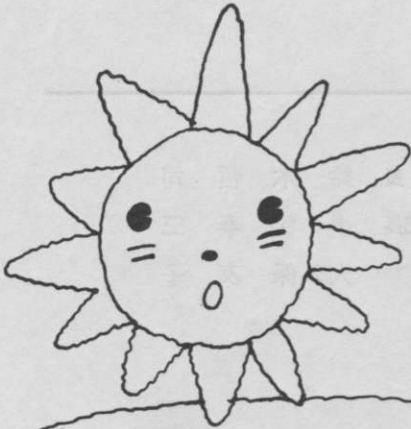
Timpani

山名 聡一郎 (工2) 広島

Guitar

◦小松 泰三 (工3) 岡山
一瀬 千恵 (工3) 山梨
河西 邦人 (工4) 山梨
斉藤 充弘 (工4) 神奈川
矢津 洋 (工4) 石川
米倉 淳博 (工4) 兵庫
市川 潤子 (教4) 山梨
今福 久幸 (工4) 宮城
梶 芳久 (工4) 千葉
関口 毅 (工4) 群馬
芦沢 正則 (工2) 山梨
伊東 郁子 (教2) 山梨
斉藤 哲治 (工2) 山梨
竹中 道夫 (工2) 千葉
羽中田 忍 (教2) 山梨
堀池 麻子 (工2) 静岡
増田 美哉子 (教2) 静岡
安田 茂樹 (工2) 千葉
飯田 みどり (教1) 山梨
奥田 友通 (工1) 香川
梶本 浩 (工1) 山梨
木俣 祐二 (工1) 静岡
小池 公子 (教1) 山梨
柴 卓造 (工1) 茨木
藤橋 敬佳 (工1) 愛知
矢野 義博 (工1) 大阪

ナレーター 羽中田 豊子 (臨教) 山梨



1st. Mandolin

舞台の向かって左側に陣どっているのが私たち1st. です。合奏では最高音部を受けもっています。澄みきった美しい音を、奏するため日夜血のにじむような？練習を続けてきました。今宵の演奏では美しい音色をあなたの心におとどけます。

Conductor

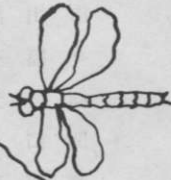
飯島先生をはじめとして、榊原、寺井と指揮者は3人。合奏の扇の要としての責任を感じ日夜楽譜とにらめっこをし、鏡の前で、見あきた姿をながめながら練習した成果が今日でるでしょうか。

Flute

秋の野をかけめぐる風のように 時にやさしく、時に激しく、あなたの心を動かせることができたらと思いつつ、日夜、きびしく激し

2nd Mandolin

みなさま、舞台左手をご覧ください。1.5ボルトの瞳で、指揮者を見つめ、楽譜を見つめている光輝く一団を。ほら、聞こえてくるでしょう…時には、花のようにかれんに、時には嵐のように激しく流れるトレモロが。表には出さないけれど、心に情を秘めた、緑の下の力持ち、合奏の名脇役…それが2ndパートなのです。



Percussion

今年も「できんぼ小僧」、親分以下4名はよく遊びました。種々のたわむれの中から、より美しい音を見つけよう…。そして今夜私たちは裁かれます。明日、灰色の景色の中に溶け込む私たちの心は、澄み切っているでしょう……

Member 山名聡一郎 梶本 浩
飯田 みどり 日向 菊夫

Mandola

ドラの音色は人間の声に一番近いとか。そう言えば、クラブの中で一番人間らしいのが、我々ドラパート員とか……。ある時は大海のうねりの如く、またある時は小川のせせらぎの如く、人間のあらゆる感情をドラに託す我々七人はやはり、一番人間らしくなくてはならないのでは。どうぞ今宵の演奏をお楽しみください。



軽食・ドリンク・ウイスキー

談話室

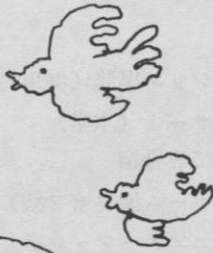
だべーる

甲府市武田通 TEL 51-5321
(駐車場完備)

酒は剣菱——
宴会には菊鮓

北新 菊鮓

TEL 52-3368・0902



→
い練習をつんでいます。
繊細な音楽的感覚が必要
という点ではわがクラブ
唯一であるということは
さておき、この定期演奏
会で、どこまで、フルー
トの魅力をひきだすこと
ができるか、よく
お聴き下さい。

Bass

昨年同様 ハルキ、ヒカル、マサル
セイイチローの不動のオーダーで、
お送りするベースパート。

今年は平均年齢も22才強となり、
ますます男のしぶさをみせてくれる
ものと思われま。

Guitar

ステージに向かって右端に陣取り、すばらし
い音色を出している総勢28人、それがギターパ
ートなのです。

ギターたるもの時にはソロとして女の子の心を
くすぐり、伴奏として曲をひきたたせ、また恋
人のいない人は抱きしめ淋しさをまぎらわすこ
ともできるのです。演奏会では、ほとんどマン
ドリンの伴奏につとめておるのですが、その働
きの重要さは今宵の演奏を聴いていただければ、
おわかりになることでしょう。

PARTICISTIC

Mando Cello

一見ギターのようにギターではない。

そうです。お父さんギターとお母さんマンドリンの
間に生まれた楽器。それがマンド・チェロなのです。ギターの力強さと
マンドリンのセンサイさを兼ねそなえたこの楽器こそ、マンドリンコンサートには必要不可欠な楽器なのです。

パート員は女性3名にまじって、黒一点(?)の男性一名。練習のときには、話にあきると楽器をひきはじめるという、なん
ともどかなパートなのです。しかし、いざ合奏となると、全員一丸となって、楽符とにらめっこ。そして低音の音を響
かせて、さっそうと演奏をはじめます。では、私たちの顔に見とれることなく、ごゆっくりとお聴きください。

味の店 中華料理



一番

美咲2丁目バス停前
TEL(52)2816

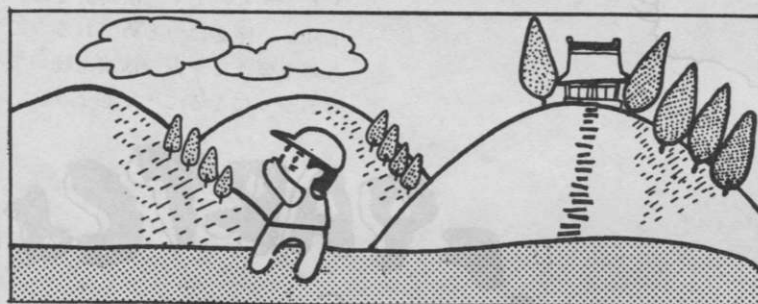
豊富なパターンの中から あなたに
ぴったりのジーンズをお選び下さい

ドンキ

県民会館東隣リデス

この一年をふりかえって

- | | |
|-------|---|
| 53年1月 | 成人式アトラクション出演(境川村公民館) |
| 2月 | 卒業生記念コンサート(本学)
河口湖常在寺にて春合宿 |
| 3月 | 慰問演奏(老人ホーム聖ヨゼフ寮) |
| 4月 | 新入生歓迎オリエンテーション参加(本学) |
| 6月 | 大学祭:音楽喫茶「あざみ」開く(本学) |
| 7月 | 山梨県マンドリン連盟合同演奏会(本学)
山梨市万力公園にて一年生強化合宿 |
| 8月 | 増穂町妙法寺にて夏合宿 |
| 10月 | 山中湖丸石荘にて秋合宿 |
| 11月 | 山梨県芸術祭音楽祭出演(県民会館) |



甲府市朝日二丁目19-8

魚 春

電話 (52) 5931 番

もとやま
許山胃腸病院

甲府市中央一丁目12-6

TEL 33 - 5107(代)

普通免許をとりませんか、
いまがいちばんすいています(12月中旬まで)

買物に レジャーに 送迎等に
あなたの行動半径はぐーんと広がります。

甲府市湯田二丁目16-25

山梨交通自動車教習所

TEL 35-5401
32-3068

ミュージックショップ

サンリン



甲府市丸の内2-15-14

TEL 0552-24-6226

調和の靈感 第11番について

アントニオ・ヴィバルディのこの曲は、古典音楽の中で最も著名な曲の一つであるが、それは作品自体の内面的価値と、それから又この曲が一般に普及される迄の数奇な宿命とによるのである。

それは、大バッハが、ワイマールの宮廷に宮廷オルガニストとして仕えていた時代に「調和の靈感」の楽譜を手に入れたと、さっそくこの曲をオルガンの独奏でひける形にアレンジした。ところが、バッハの死後19世紀に入ると、その曲はいつの間にかバッハの長男のフリーデマンの作品ということで、世の中に通るようになってしまったのである。事の起りは、バッハの自筆法を譲りうけた長男のフリーデマンが、「自分のものだ」という意味で楽譜の表紙にサインしておいたものをバッハの孫弟子にあたるグリーペンクヘルクという人が取り違えて、ウィルヘルム・フリーデマン・バッハのオルガン協奏曲と名うって出版してしまったのである。さらに19世紀後半にリストの弟子のストラダールというピアニストが豪華絢爛たるピアノの技巧でパラフレーズした曲にして出版し、もうフリーデマンの名は黒板消しでは消しようもないほど作品にしみついてしまったのである。

ところが今世紀に入って、マックス・シュナイダーが「バッハ年鑑」で、この曲はフリーデマンの作ではなく、大バッハの作曲であると主張して注目された。しかしながら事実上、大バッハがヴィバルディに敬意を表し、学ぶためにアレンジしたものであったのである。



甲州湯村温泉
政府登録国際観光旅館(登録旅館第6号)
常磐ホテル
TEL 甲府 0552 (52) 1301(代)
石和温泉トキワホテルTELいさわ 4175~6
下部温泉常盤別館TELしもべ6-0326

内料理
常盤屋
うなぎ
甲府市朝日二丁目・電話(52)5656
(52)0945

洋食・喫茶
ビジネス・レストラン
コンソリ
丸の内一丁目 電話33-3135
32-1904

楽しく学ぶギター教室
生徒募集
横森ギター研究所
甲府市幸町28-17
TEL甲府(0562)
37-4212
33-3296
(自宅)22-4973

ギター教室

— 瀬 純 —

- * クラシックギター科
- * フォークギター科
- * マンドリン科

甲府市武田通り歩道橋北
いちのせ薬局2階
TEL (0552) 53-3811

寿司と御食事の店

伊津美

御会合・無尽会 等御座敷を御利用下さい

朝日通り TEL (52) 5442

寝具製造 貸布団

大関わた有限公司

甲府市城東三丁目16-16
TEL (35) 6288 代

甲府市朝日通り

古屋眼科医院

古屋コンタクトレンズ研究所

TEL (52) 3305

名泉 水晶閣
名庭

甲府市中央四丁目1-17
TEL (33) 3185 (代)
サイワイ

コンパの御用命は
良心的な

かどや

どうぞ

甲府裁判所東
TEL 35-3351(代)

かしわ料理

鳥真支店

TEL (52) 7741

電子式卓上計算機・電子リコピー
スチール家具・事務用品

有限公司 **三機堂**

甲府市朝日五丁目12-6
TEL (0552)53-0211(代)

編集後記

あれを載せようか、いや、これを載せようかと気持ちばかりが先に走って結局、考えがまとまったのが、ながーい、ながーい前期試験のまっ最中だったのです。思えば夏休みからは、あの大好きだった勉強も中断し、ただひたすらパンフレット製作のヒントにと、ジャンプ、サンデー、チャンピオン、それにマーガレット etc.....を熱読する毎日でした。でもどうやら、それも終わり、本来(?)の私たちに、もどれることでしょう。

最後になりましたが、パンフレット製作にあたり、御協力下さった諸先生方、広告店主の皆様、印刷会社の皆様方に心から感謝いたします。
(K. I. I)

編集・製作.....パンフレット係

小松 泰三

一瀬 千恵

伊藤 一美

印刷.....温故堂印刷KK

本格派のあなたに

有名手工品をお奨めします

長末晴高	今井博水	西野春平
河野賢	黒沢常三郎	田村広
茶位幸信	俣野勝	矢入貞天
中出阪蔵	松岡良治	桜井正毅

マンドリン 石川捷二郎 フォーク手工品 ヤマキ・ヤイリ

ギター常時500在庫 お気軽にご試奏下さい

1F・レコード&

ミュージックテープ 2F・ピアノ・電子オルガン

・内外管弦打楽器	新設	・エレキ&
・楽譜・楽書	（カセットコーナー）	サウンド
	アイワ・ソニー	ドラムセット

音のデパート
イイジマ楽器

（贈りものにレコード券を） 甲府オリオン通り TEL (32) 3345 (代)

華麗な音の手工芸品

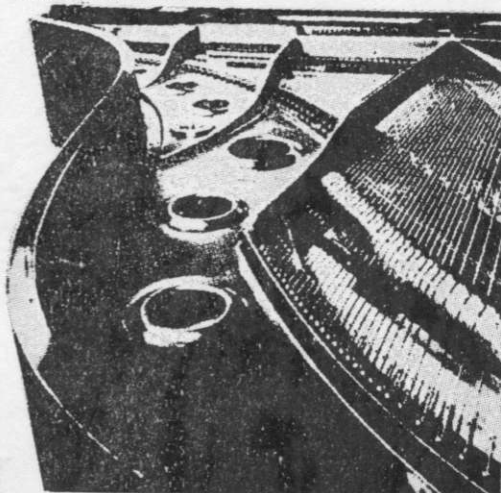
よいピアノが生まれる秘密は、
ひとつひとつの工程にあります。

デアパソソ

H 浜楽商事株式会社東京営業所
東京都渋谷区代々木1-36 (全理連ビル6F)

電話 (379) 1371

本社 ■ 浜松市寺島町200 / TEL (54) 2131 代表 山梨代理店 飯島楽器
営業所 ■ 東京・大阪・名古屋・福岡・浜松



Yamanashi University
Mandolin Club.